



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空) は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

景況調査レポート



つち びな
中野土雛
猪乗り金太郎

「元日や 上々吉の 浅黄空」一茶
亥年の幕開けは、この句のように元旦から晴天続きの穏やかな初春でした。浅黄色はごく薄い藍色のこと、新撰組の羽織の色といえは分かりになるのでは。

新元号を迎える門出の日が、とびっきりの浅黄空(ブルーすかい)で、平成の次の世も、上々吉の良い時代となることを土雛と一緒に願います。

- 巻頭言
合言葉は「カムバック to ながの」
～実現に向けた取組～ ……2
- 長野しんきん
景況調査レポート ……10
- 北信濃 江戸時代の風景 (53)
北原の松屋 ……14

アンケート特集

- 31年の経営見通し① ……5
- 31年の暮らし向き 生活者 ……8

合言葉は「カムバック to ながの」 ～実現に向けた取組～

新しい年の幕開けにあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

本年が皆様にとりまして良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、1989年1月8日から始まった「平成」も残りわずかとなりました。

30年4か月で幕を閉じることになる平成という時代を振り返ってみますと、本市では1998年(平成10年)のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会の開催を契機として、新幹線や高速道といった高速交通網をはじめとする都市基盤整備が促進され、また、中核市への移行(平成11年)や2度の市町村合併(平成17、21年)などにより、長野市が大きく発展した時代であったと感じております。

一方、急速な人口減少、少子高齢化の進行というこれまで経験したことのない局面も迎えることとなりました。

本市の人口は、平成12年にピークを迎え、平成19年以降は、自然増減、社会増減ともに減少基調となり、このまま人口減少が続くと、将来における経済規模の縮小や社会の活力の低下が懸念されます。

また、近年においては、県内高校から大学等に進学する学生のうち約8割が県外の大学等へ進学し、そのうち6割が県内に戻って来ないという残念な状況が続いております。

全国的にも東京圏への一極集中が更に加速している中、本市においては、「2020年の移動均衡」を当面の目標とし、「カムバック to ながの」を合言葉に、地域への愛着の醸成や職とのマッチングなど、若い世代を呼び込む取組を強化しております。

そこで、今回は、長野から首都圏に進学・就職した若者を再び地元長野へ呼び戻す取組についてご紹介したいと思います。

長野出身者と企業との職のマッチング

県外に進学・就職した若者に企業情報、求人情報などを積極的に提供し、長野出身の若者と地元企業との職のマッチングを進めています。

◆就職情報サイト「おしごとながの」の運営

県外へ進学した学生等には、なかなか市内企業の情報が届きにくい状況であったことから、市内企業の魅力を市内外に広



おしごとながのHP

く発信し、中小企業の人材確保を支援するため、就職情報サイト「おしごとながの」を平成26年12月に開設いたしました。

その後、平成28年4月には、長野地域連携中枢都市圏の市町村(須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町)にまで掲載エリアを拡大するとともに、利便性を向上させるため、掲載内容の見直しやシステムの改修などを重ね、平成30年11月末現在、334の事業所にご登録、ご活用いただいております。

また、東京圏からの移住につながる取組として、社会人経験者の採用を積極的に取り組む企業を支援するための特設ページを開設するなど、さらに工夫を加えた結果、サイト閲覧者も年々増加し、今年度の月平均セッション数は11,665件と昨年度の約1.5倍増となっております。

今後も更に多くの方にご活用いただけるよう、内容等の充実を図るとともにサイトのPRを積極的に行ってまいります。

長野市長 加藤 久雄

◆「ナガノのシゴト博」の開催

「ナガノのシゴト博」は、首都圏の大学等に進学した学生や首都圏で就職した社会人を対象に、同郷者や地元企業との交流を通してふるさとへの郷土愛を醸成し、Uターン就職や移住の機運を高めることを目的としたイベントです。



平成29年度 ナガノのシゴト博

平成29年度に東京のKITTEで初めて開催いたしました。学生・社会人合わせて約300名の参加があり、参加した企業や学生等からも好評を得ました。今年度は、10月に社会人を対象に開催したところ120名の方が参加され、多くの方に地元長野の企業を知っていただく機会となりました。また、2月には、学生を対象とした開催を予定しておりますので、こちらにも多くの学生の参加をお待ちしております。

平成29年度に東京のKITTEで初めて開催いたしました。学生・社会人合わせて約300名の参加があり、参加した企業や学生等からも好評を得ました。今年度は、10月に社会人を対象に開催したところ120名の方が参加され、多くの方に地元長野の企業を知っていただく機会となりました。また、2月には、学生を対象とした開催を予定しておりますので、こちらにも多くの学生の参加をお待ちしております。

首都圏在住で「長野に戻って地元で働きたい」と思っている学生や、「いつかは長野に帰りたい」と思いながら働く社会人にとって、長野へ戻るきっかけになればと考えております。

◆長野地域UJIターン就職促進事業 (いいよね！おしごとながの事業)

この事業は、国の交付金を活用し、連携中核都市圏事業として平成28年度から首都圏に進学した学生等を対象に、様々なイベントを実施しています。

今年度は「インターンシップ合同説明会」や、「就職に関するワークショップ」を開催するほか、3月には、「合同就職説明会」を東京で開催する予定です。



【プロフィール】 かとう ひさお

昭和36(1961)年 長野県長野高等学校 卒業
昭和40(1965)年 早稲田大学第一政治経済学部 卒業
昭和40(1965)年 内田産業株式会社 入社
昭和42(1967)年 同社 退職
昭和42(1967)年 株式会社本久 入社
昭和48(1973)年 同社 常務取締役 就任
昭和56(1981)年 同社 専務取締役 就任
昭和58(1983)年 本久ケーヨー株式会社 代表取締役社長 就任
昭和60(1985)年 株式会社本久 代表取締役社長 就任
平成17(2005)年 二幸機材株式会社 代表取締役社長 就任
平成19(2007)年 長野商工会議所会頭 就任
平成19(2007)年 長野県商工会議所連合会会長 就任
平成20(2008)年 二幸機材株式会社 代表取締役会長 就任
平成20(2008)年 株式会社まちづくり長野 代表取締役社長 就任
平成21(2009)年 株式会社本久ホールディングス
代表取締役会長兼社長 就任
平成21(2009)年 しなの鉄道株式会社 取締役会長 就任
平成23(2011)年 長野県体育協会 理事長 就任
平成25(2013)年 長野市長 就任
平成29(2017)年 長野市長2期目 就任

また、超売り手市場の中、企業の募集採用活動をより戦略的に行ってもらうため、企業の採用担当者を対象とした「企業採用力強化セミナー」も実施しております。

今後も学生と企業が直接マッチングできる機会を積極的に提供し、若者のUJIターン就職につなげ、長野地域経済の活性化を推進してまいります。

地域への愛着の醸成

幼少期から進学等で県外へ出た後まで、本人はもちろんのこと親や家族を含め、様々な機会を捉えて地域の魅力を伝え続け、地域への愛着

の醸成を図ります。

◆未来ビュー長野の開催

「未来ビュー長野」は、進学や就職など、卒業後の進路を考える高校生を対象に、大学や専門学校での学びが



平成30年度 未来ビュー長野

就職後どう生かされていくのかを理解してもらうとともに、地元企業や仕事の魅力を伝えることで、将来的に地元企業への就職促進や職場定着につなげることを目的として、民間事業者が開催する「進学フェスタ」と同時開催いたしました。

初めて開催した今年度は、「ものづくり」、「健康・食」、「まち・お金」、「こども・福祉」や「グローバル」の5つのキーワードごとに関連する企業や大学等が体験ブースや相談ブースを設けました。当日は2,331名もの高校生に参加いただき、参加した企業や学生からも非常に好評でした。来年度以降も引き続き開催し、高校生に長野の企業をPRすることで、将来的な地元企業への就職につなげてまいりたいと考えております。

◆若者へのアプローチ

市内に通学する高校生や大学生といった若者をターゲットに、将来的な定住(Uターン)を考えるきっかけづくりとして、地域で活躍するUターン者を紹介するパンフレット「アイムバック」を作成し、現在、市内の高校2年生に配付しております。

また、小学4年生には、観光、歴史、生活文化、産業、自然等の情報を掲載したリーフレットを配付し、社会科での授業に活用することにより、子供の時期から本市の良さを認識してもらい郷土愛の醸成を図っております。

この他、市内の大学生と企業等で働く社会人との座談会を開催し、就職前に長野で働く・暮らすことへの魅力を伝えることで、地元を意識するきっかけとしてもらい、将来の移住・定住につながるよう取り組んでおります。

家族・地域の絆から想いをつなぐ

県外で様々な経験を積んだ若者が長野へ帰ってくることへの期待を、家族や地域の仲間から伝えやすい雰囲気を作ります。

◆「親向けセミナー」の開催

学生や社会人の地元へのUターンは、親からの「長野へ帰っておいで」というアプローチが長野へ戻ることを考えるきっかけとして、少なからず影響を与えることから、長野在住の親御さんに向けて、長野地域の企業情報や求人活動の状況などを伝える「親のためのUターン応援セミナー」を開催しております。

初開催の平成29年度は、就活と婚活事情をテーマに、2回目の今年度は、地元企業の魅力や最近の就活事情をテーマとしたセミナーを開催し、多くの方にお越しいただきました。

子供が地元に戻って来るには、「長野へ戻ってきてもらいたい」という気持ちを伝えることが大事ですので、多くの親御さんが、長野での仕事・住まい・ライフスタイルの魅力をお子さんに伝えていただきたいと思います。

長野を元気に

長野に若者を呼び戻すことと同様に若者の流出防止対策も重要であります。

本市では、平成30年4月に長野県立大学が開学し、今春には、長野保健医療大学と清泉女学院大学の看護学部がスタートする予定です。これにより、本市の大学収容力が28%から40%に上がる見込みとなり、地元進学の受け皿が拡大し、若い世代の地元定着、ひいては市内での就職につながるものと考えております。

若い世代が地元で暮らす・働くことは、長野を元気にすることにつながります。

本市では、長野で働く魅力を企業の皆様とともに発信するなど、引き続き、「カムバック to ながの」を合言葉に、持続可能な本市の構築のため首都圏の若者を呼び戻す取組を積極的に行ってまいりますので、皆様の一層のお力添えをお願いいたします。

30年の業況 +5 [良い]30% [悪い]25%

31年の業況見通し ▲8 [良くなる]18% [悪くなる]25%

アンケート
31年の経営見通し ①
30年12月調査

30年の業況 [良い]30%、[悪い]25%の+5となり、29年(+6)と同等になりました。

31年の業況見通し [良くなる]18%、[悪くなる]25%の▲8となり、30年(+6)に比べ14ポイント悪化の予想となりました。

30年の業況

30人未満 +1 [良い]27% [悪い]26%

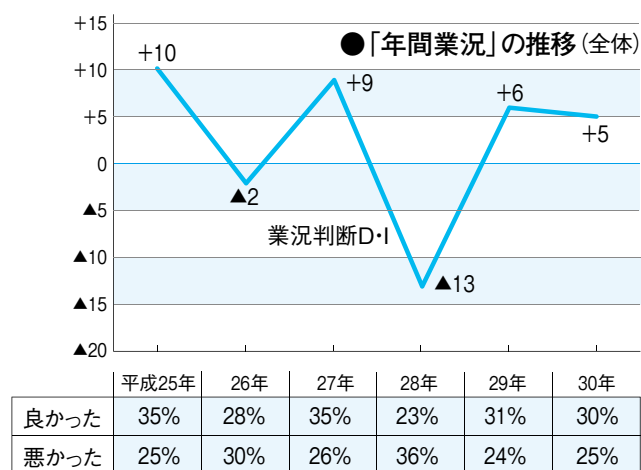
30人以上 +19 [良い]39% [悪い]20%

「平成30年の業況(見込み)は、29年に比べてどうか」を聞きました。

全産業では、「良い」と「やや良い」を合わせた[良い]と答えた企業(30%)から、「悪い」と「やや悪い」を合わせた[悪い]と答えた企業(25%)を引いた業

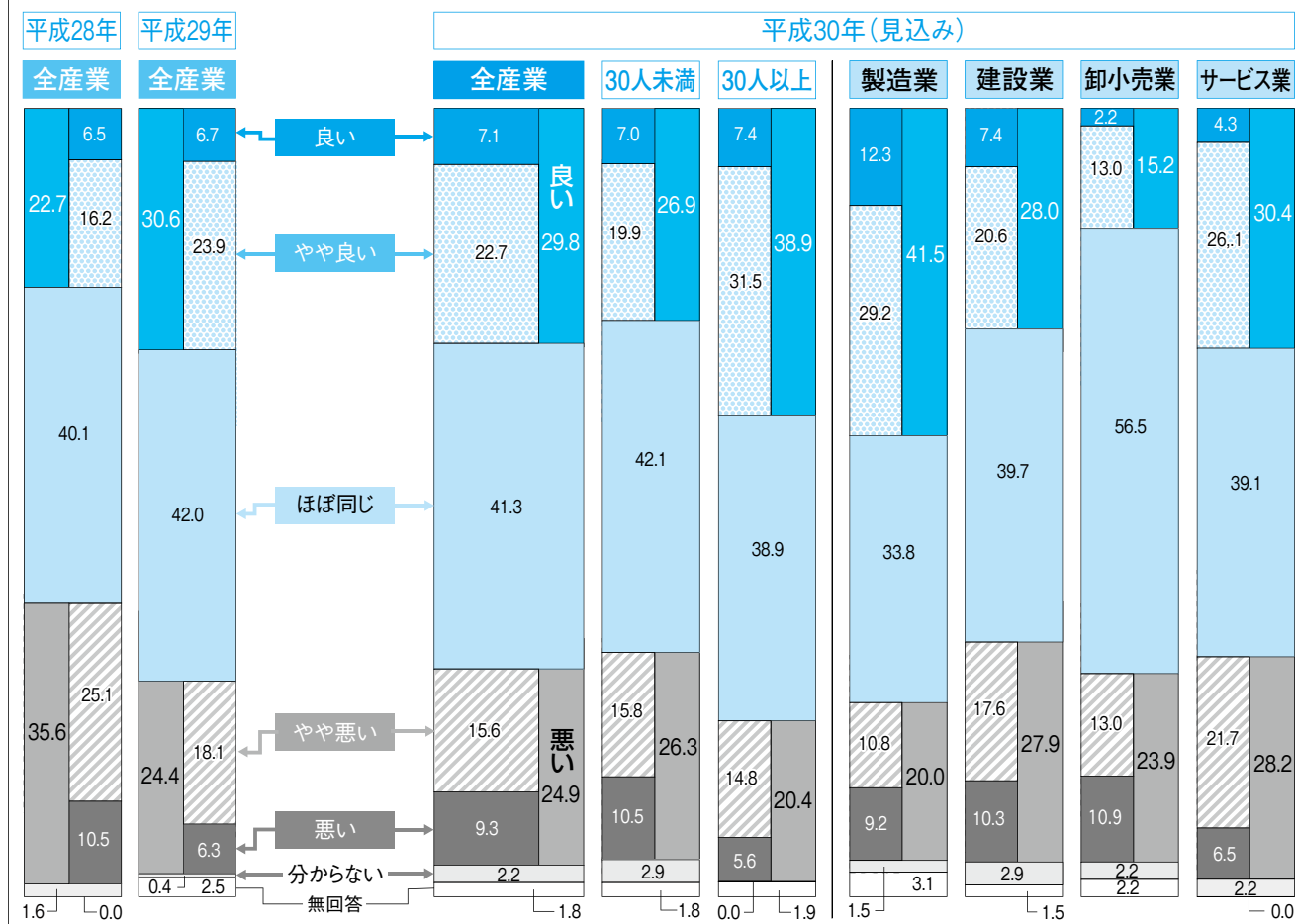
況判断D・Iは+5となり、29年(+6)に比べ1ポイント悪化しました。

従業員規模で見ると、30人未満の+1に対して、30人以上は+19となり、30人以上が大きく18ポイント上



●平成30年の業況(見込み)は、29年に比べてどうか(%)

～全産業は29年(+6)より1ポイント悪化して+5に～



回りました。

業種別

サービスは30人以上が低い

◇4業種(29年比)

製造業 業況判断D・Iは、29年実績(+25)に比べ3割悪化の+22となり、他業種に比べ最も高くなりました。30人未満は+7、30人以上は+48です。

建設業 業況判断D・Iは、29年実績(+5)に比べ5割悪化の±0となりました。30人未満・30人以上ともに±0です。

卸小売業 業況判断D・Iは、29年実績(▲13)に比べ4割改善の▲9となり、他業種に比べ最も低くなりました。30人未満は▲13、30人以上は+14です。

サービス業 業況判断D・Iは、29年実績(▲2)に比べ4割改善の+2となり、製造業に次いで高くなりました。30人未満は+9、30人以上は▲14です。

31年の業況見通し

30人未満 ▲6 [良くなる]19% [悪くなる]25%

30人以上 ▲13 [良くなる]15% [悪くなる]28%

「平成31年の業況見通しは、30年に比べてどうなるか」を聞きました。

全産業では、「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]と答えた企業(18%)から、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]と答えた企業(25%)を引いた業況判断D・Iは▲8となり、30年実績(+5)に比べ13割悪化の予測となりました。

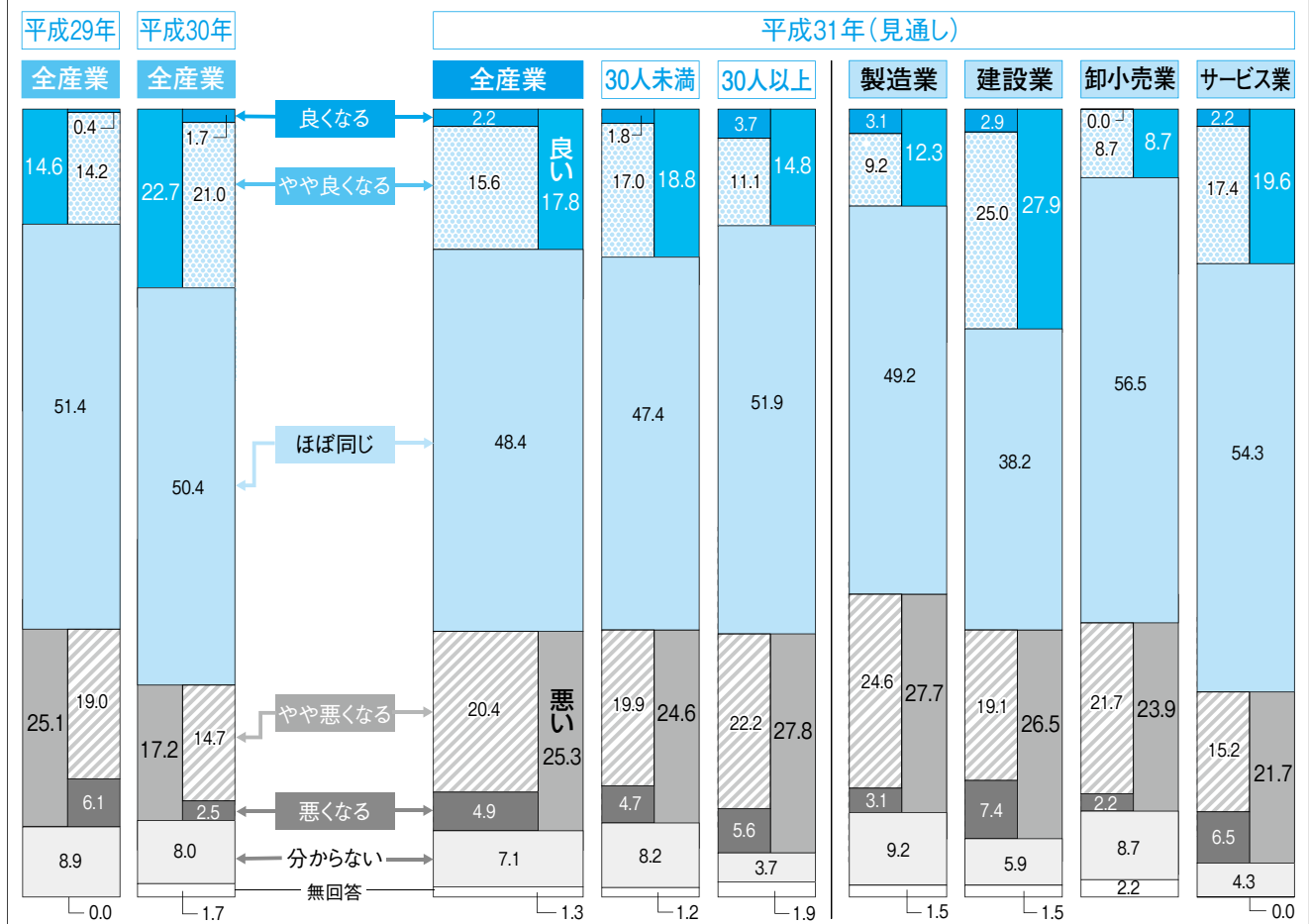
従業員規模で見ると、30人未満の▲6に対して、30人以上は▲13となり、30人未満が7割上回っています。

業種別

建設のみ+1、30人以上は+20

◇4業種(30年比)

●平成31年の業況見通しは、30年に比べてどうか(%) ～全産業は30年(実績+5)と悪化の▲8を予測～



製造業 業況判断D・Iは、30年実績(+22)に比べ37ポイント悪化の▲15となり、卸小売業とともに最も低くなりました。30人未満は▲12、30人以上は▲22です。

建設業 業況判断D・Iは、30年実績(±0)に比べ1ポイント改善の+1となり、他業種に比べ最も高くなりました。30人未満は▲2、30人以上は+20です。

卸小売業 業況判断D・Iは、30年実績(▲9)に比べ6ポイント悪化の▲15となり、製造業とともに最も低くなりました。30人未満は▲18、30人以上は±0です。

サービス業 業況判断D・Iは、30年実績(+2)に比べ4ポイント悪化の▲2となり、建設業に次いで高くなりました。30人未満は+9、30人以上は▲29です。

[調査要領]

実施期日：2018(平成30)年12月上旬～中旬

実施方法：第174回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収225社(製造業65社、建設業68社、

卸小売業46社、サービス業46社)

うち従業員30人未満171社(76.0%)

「31年の展望と業界見通し」に関する企業からのコメント

製造業

- ◇新工場が稼働し、順調に推移している。とにかく、できることを確実にやり、お客様のために“考動”していく。(乾そば製造)
- ◇新事業分野への参入はハードルが高いが、既存事業の拡大・効率化を進めつつ、同業他社にない独自性をより高めていきたいと思う。(シール・ラベル製造)
- ◇近年、業況は上向いているが、先行きは不透明であり、引き続き堅実な経営を行っていきたい。(金属製品製造)
- ◇事業継承の道筋はついたが、商材・設備の更新や人材の育成に遅れがある。世界的に不透明な景況感に包まれており心配。(医療機器製造)
- ◇原材料や経費の値上がりにより、製品単価の見直しの必要に迫られている。赤字の製品が多く、見通しは不透明。(プラスチック製品金型)
- ◇下請の立場なので、景況好転を期待する。業界としては、東京オリンピック終了まで大きな好転は考えられない。(雑貨製造)

建設業

- ◇若手社員の成長による“収益力のある会社”に期待している。
- ◇相変わらず大きな変動もなく、建設業は活気のない状態が続くと思われる。当社は受注できる範囲を見極め、相応の人員配置を検討していく時期に来ている。
- ◇東京などへ販路を確保し、体制を整えたい。
- ◇ローコスト住宅が増加している中で、独自性を出していくことが重要である。(以上総合建設)
- ◇増税前の需要が増えてきているが、代人がおらず、すでに対応できていない。(建設)
- ◇2025年の大阪万博が決まったので、しばらくは建

設需要が高いまま推移しそう。材料の品薄状態がいつ解消するかわからない。(鉄筋工事)

卸小売業

- ◇健康食ブームの中で、年間を通してのきのこ消費の増加を期待する。(青果物・きのこ類卸売)
- ◇輸入に関して、中国などは先のことが全くわからない。(健康食品卸売)
- ◇建設資材・工具等も大手通販が業績を伸ばしている。顧客の利便性を第一に信頼関係を深めるのみ。(建築資材卸売)
- ◇地元スーパーとして、高齢者の買物に特化し、人気総菜・弁当等の開発販売に努力する。(生鮮食料品小売)
- ◇流通大手のバーゲンセール・ポイント還元セール等の影響で、市場がプリーズード状態。(軽包装材料卸小売)

サービス業

- ◇監督省庁から労働条件改善要請の動きが強まる中、ドライバーの待遇改善が急務であり、そのためには収益運賃・料金の適正収受の動きを進めなければならない。
- ◇仕事量は十分確保できるが、人材が確保できず、対応に苦慮している。(以上運送業)
- ◇消費税増税で客離れ也多そうなので、先行きはやや不安。営業車を高級車に入れ替える予定。(タクシー・バス)
- ◇ここ数年の好調を維持するため、高級志向による差別化をより徹底したい。(和風旅館)
- ◇人材確保に注力し、安全・安定の経営を目指す。(旅館)
- ◇現状収益の安定化のために、設備投資を優先的にやり、業界の変動の様子を見る。(不動産)

30年の暮らし向き

+2 [良くなった]12% [悪くなった]10%

31年の暮らし向き(予測)

▲5 [良くなる]13% [悪くなる]18%

31年の暮らし向き

生活者アンケート

30年12月調査

30年の暮らし向き [良くなった]12%、[悪くなった]10%で、暮らし向き判断D・Iは+2となり、改善しています。

31年の暮らし向き [良くなる]13%、[悪くなる]18%で、暮らし向き判断D・Iは▲5となり、悪化を予測しています。

◇30年 +2([良くなった]12%・[悪くなった]10%)

◇31年(予測) ▲5([良くなる]13%・[悪くなる]18%)

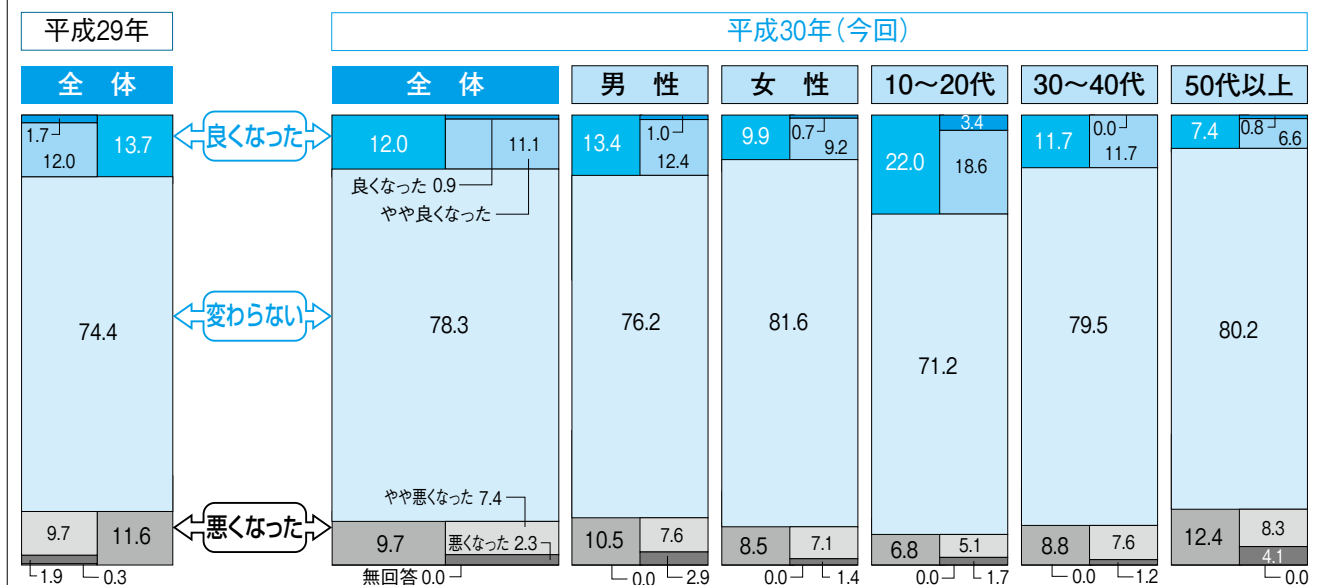
30年の暮らし向き

29年に比べ横ばい

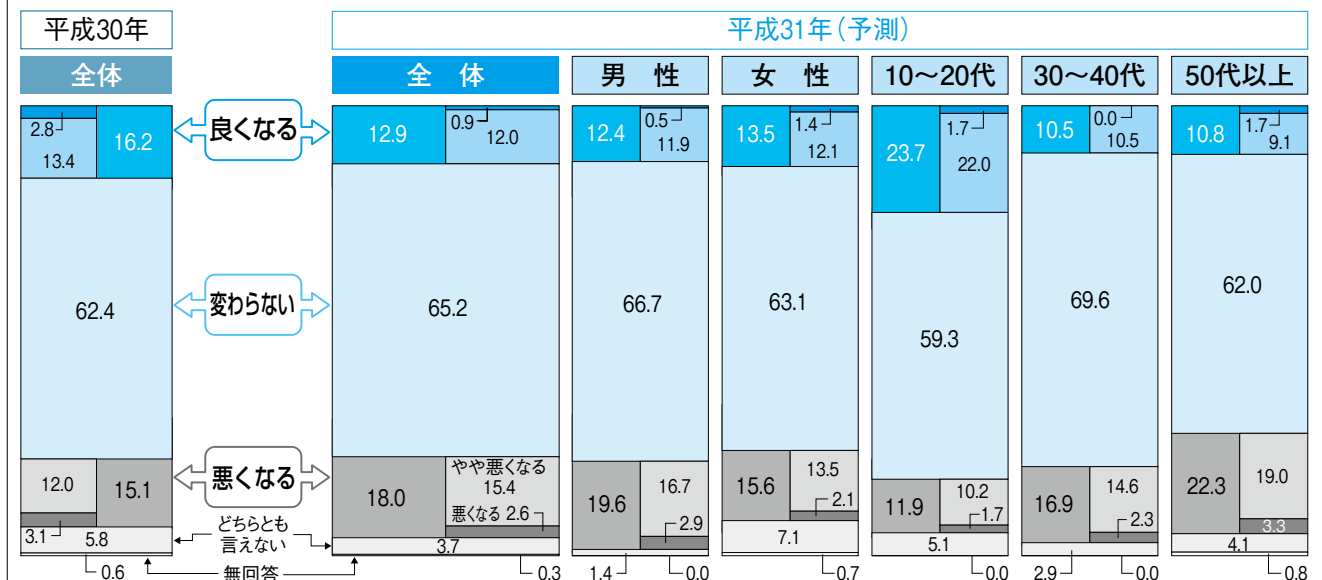
「平成30年の暮らし向きは、29年と比べてどうか」を聞きました。

「良くなった」と「やや良くなった」を合わせた[良くなった]は12%(29年調査:14%)「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた[悪くなった]は10%

●1年前と比べて、今の暮らし向きはどうか(%)

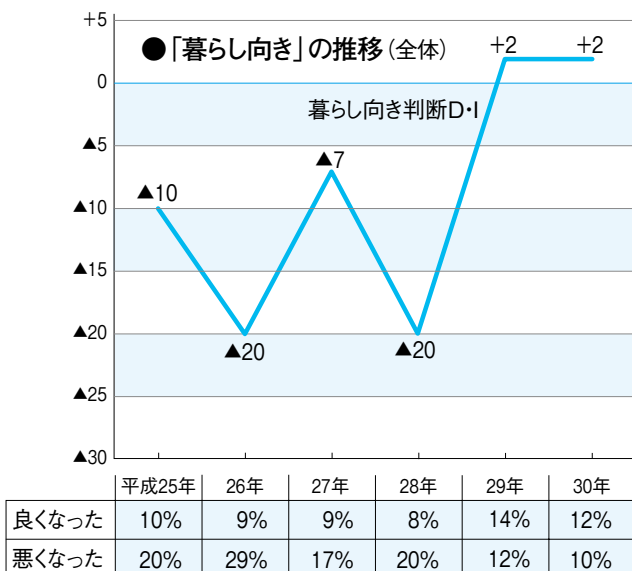


●平成31年の暮らし向きは、30年に比べてどうなるか(%)



% (同調査：12%)で、暮らし向き判断D・Iは+ 2 となり、29年(+ 2)に比べ横ばいとなりました。

男女別では、[良くなった]は男性13%、女性10 %、[悪くなった]は男性11%、女性9 %となり、暮らし向き判断D・Iは男性+ 3、女性+ 1となり、男性が2割高くなりました。世代別では、10～20代が+15、30～40代が+ 3、50代以上が▲5 となり、その差は20割と広がっています。



31年の暮らし向き(予測)

30年(実績)に比べ7割悪化

「平成31年の暮らし向きは、30年と比べてどうなるか」を聞きました。

「良くなる」と「やや良くなる」を合わせた[良くなる]は13% (30年実績12%)、「悪くなる」と「やや悪くなる」を合わせた[悪くなる]は18% (30年調査：10%)で、暮らし向き判断D・Iは▲5 となり、30年実績(+ 2)に比べ7割悪化となりました。

男女別では、[良くなる]は男性12%、女性14%、[悪くなる]は男性20%、女性9 %となり、暮らし向き判断D・Iは男性▲7、女性+ 4 となり、女性が11割高くなりました。世代別では、10～20代が+12、30～40代が▲6、50代以上が▲12となり、その差は24割と広がっています。

[調査要領]

実施期日：2018 (平成30) 年12月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対 象 者：来店客351人 (男性210人・女性141人)

調査方法：アンケート用紙に記述 (無記名)

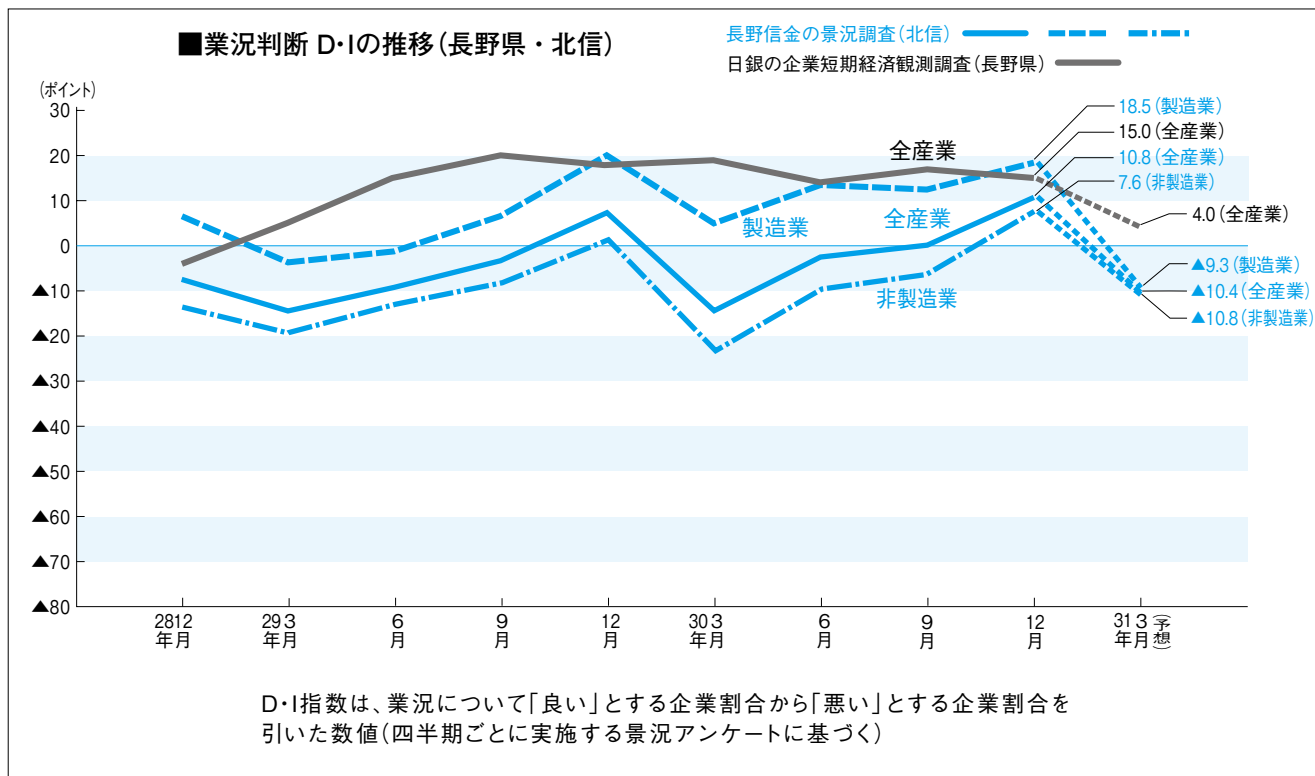
「暮らし向き」に関する生活者からのコメント

- ◇保育料の負担が家計の収支に不安材料となる。
- ◇米中の貿易摩擦で経済が影響を受けるのは仕方ないが、全面的経済戦争は困る。(以上20代男性)
- ◇本来の姿でない「ふるさと納税制度」。税収が少ない中どうしてできたのか疑問視している。
- ◇昭和から平成、新元号へ…、ずっと平和な日本であってほしい。(以上30代女性)
- ◇後ろ向きの話題が多く雰囲気が盛り上がらない。
- ◇人気取りのバラまき政策は、真摯な人間のやるべきことではない。
- ◇忙しい、ただただ忙しい毎日。10年前と比べたら余裕がない。
- ◇地域の交流が希薄化しており、何かあったときに相互扶助ができない。(以上30代男性)
- ◇今の長野県は大災害がないが、毎年自然災害がひどくなっているの、これからが心配。災害に備えた準備を進めようと思う。(40代女性)
- ◇雇用問題は人材不足が目立つが、新しいことにはチャレンジしていきたい。(40代男性)
- ◇高齢者の運転にヒヤッとさせられることが多い。何らかの法整備が必要ではないか。
- ◇現状のままだと、暮らしは厳しい。

- ◇積立預金を活用しながら、ストレスをためないように生活させてもらっている。
- ◇自分の老後のこともあるが、親の介護も心配。親が車の運転ができなくなると、生活の手助けが大変だろうと思う。(以上50代女性)
- ◇企業やスポーツ団体のモラルやコンプライアンスの低下が目立った。正直者が損をしない社会であってほしい。
- ◇仲の良い近所の家が定期借地権付なので、今後どうなるか心配。
- ◇小欲知足あるのみ。(以上50代男性)
- ◇町の中心部にある空き家が増え、観光的な美観を損ねている。空店舗の有効活用とともに問題である。
- ◇「質素節約」で生活を防衛したい。
- ◇集落の人口減少に加え、増えている空き家。その対策に手を打つべき。
- ◇消費税増税は、将来の日本のために納得するが、カード利用還元などは国が行う政策ではない。税収の増加を図る本来の政策を論ずるべき。
- ◇「少子化」「雇用」「消費税」対策がともに重要である。(以上60代以上男性)

景況調査レポート 概況 (第174回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆平成30年10～12月期…景況の現状 ◇31年1～3月期…景況の見通し



全産業±0 → +11 製造業・非製造業ともに改善

平成30年10～12月期の業況判断D・Iは、全産業で11ポイント改善して+11となりました。製造業は7ポイント改善の+19、非製造業は14ポイント改善の+8です。

平成31年1～3月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、21ポイント悪化の▲10となりました。

◆北信地区の10月～12月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	± 0	→ +11 (11ポイント改善)	→ ▲10
製造業	+12	→ +19 (7ポイント改善)	→ ▲9
非製造業	▲6	→ +8 (14ポイント改善)	→ ▲11

非製造業▲6 → +8 3業種ともに改善

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が+12(前期比+17ポイント)、卸小売業が+7(同+16ポイント)、サービス業が+2(同+7ポイント)となり、3業種ともに改善しています。

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲6	→ +8 (14ポイント改善)	→ ▲11
建設業	▲5	→ +12 (17ポイント改善)	→ ▲3
卸小売業	▲9	→ +7 (16ポイント改善)	→ ▲16
サービス業	▲4	→ +2 (6ポイント改善)	→ ▲18

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)	収益判断D・I(「増益」-「減益」)
	前期 今期	前期 今期
全産業	+6 → +14 (改善)	± 0 → +5 (改善)
製造業	+8 → +2 (悪化)	+9 → ▲2 (悪化)
非製造業	+5 → +20 (改善)	▲4 → +7 (改善)

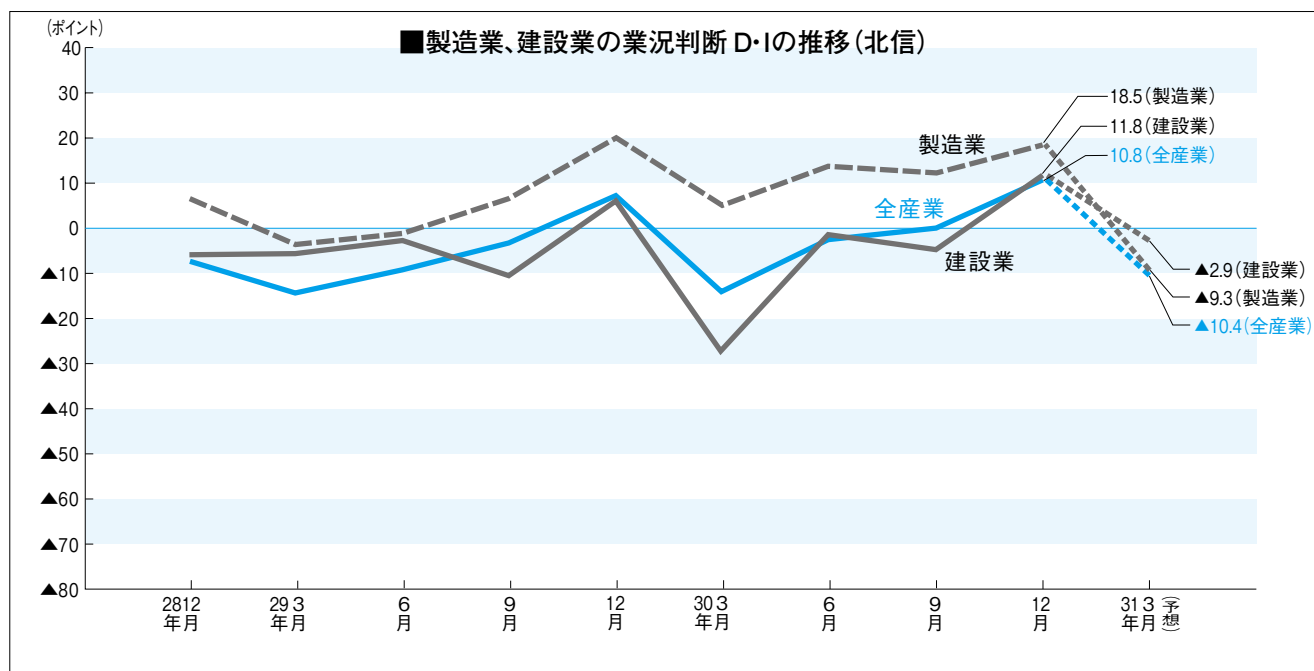
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	30年3月	6月	9月	12月	31年3月(予想)
全産業	▲14.0	▲2.5	±0.0	+10.8	▲10.4
製造業	+5.3	+13.8	+12.3	+18.5	▲9.3
非製造業	▲23.2	▲9.5	▲6.1	+7.6	▲10.8

[調査要領]

- 調査実施……平成30年12月
- 調査対象企業(回収)
 - 製造業………65社
 - 建設業………68社
 - 卸小売業………46社
 - サービス業………46社

- 合計………225社
- 回収率………84.3%
- 従業員規模
 - 30人未満………76.0%
- 分析……D・I判断指数を中心に分析



製造業の景況

7㊦改善して+19に、来期は悪化の予想

製造業の10～12月期の業況判断D・Iは+19で、前期(+12)に比べ7㊦改善となりました。1～3月期は今期より28㊦悪化の▲9の予想です。

	(前期)	7～9月期	+12
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+19
	(来期)	1～3月期	▲9(予想)

◇業種別業況判断D・I

改 善	食料品・一般機械・精密機械
横ばい	自動車部品
悪 化	金属加工・電気機械

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲2(11㊦悪化)

「増益」割合 前期 27% → 19% (8㊦減少)

「減益」割合 前期 18% → 21% (3㊦増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期 53% → 46% (7㊦減少)
「収支トントン」	前期 34% → 42% (8㊦増加)
「赤字」	前期 14% → 12% (2㊦減少)

企業からのコメント

- ★原材料・包装資材・運賃等の値上げで収益が圧迫されている。業界で対応しなければ…。(そば製造)
- ★原料が15%値上げとなるので、版業界も1・2月に値上げを打ち出す必要がある。(段ボール用印版)
- ★例年暮れにきのこの出荷価格は上昇するが、今年そうならないのは過剰生産なのか。(きのこ栽培機械)
- ☆★産業用ロボット部品については、当面横ばいと予測している。(金属製品)

建設業の景況

17㊦改善して+12に、来期は悪化の予想

建設業の10～12月期の業況判断D・Iは+12で、前回(▲5)に比べ17㊦改善しています。1～3月期は今期より15㊦悪化の▲3の予想です。

	(前期)	7～9月期	▲5
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+12
	(来期)	1～3月期	▲3(予想)

◇業種別	総合建設	前期 ▲10 → +10 (20㊦改善)
	土木工事	前期 ▲8 → ▲7 (1㊦改善)
	建 築	前期 +5 → +26 (21㊦改善)
	各種設備	前期 ±0 → +25 (25㊦改善)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+9(17㊦改善)

「増益」割合 前期 12% → 22% (10㊦増加)

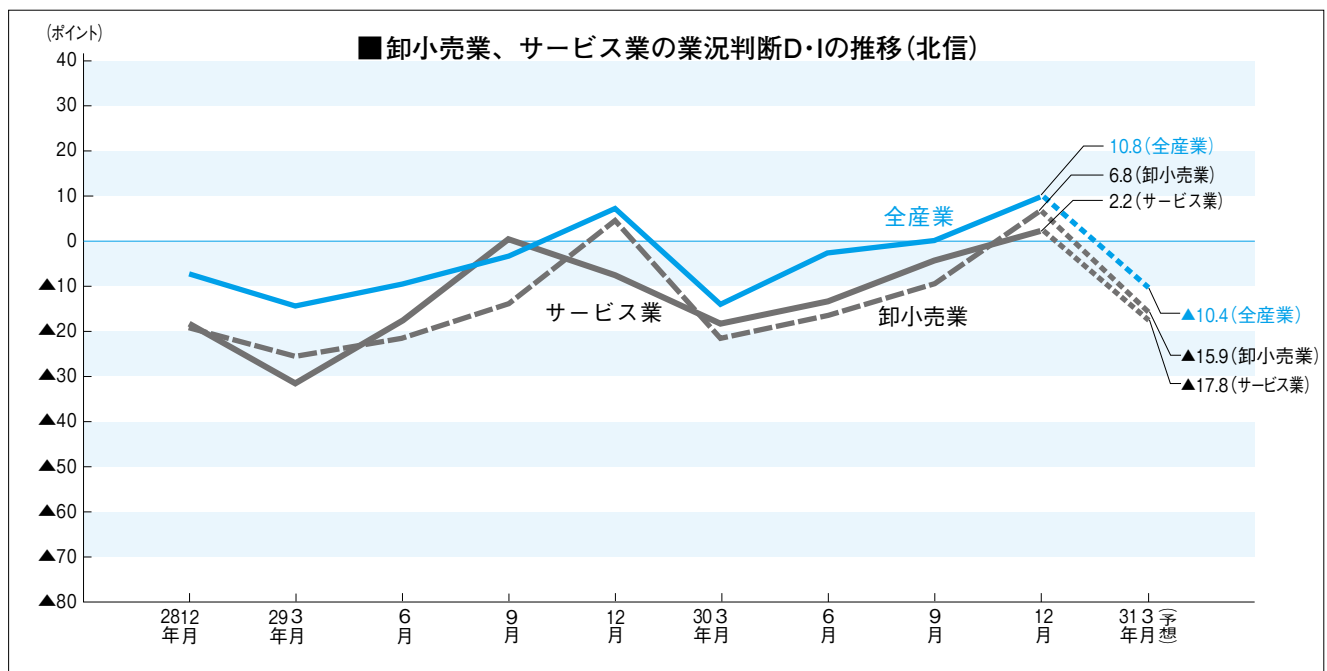
「減益」割合 前期 20% → 12% (8㊦減少)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 48% → 52% (4㊦増加)
「収支トントン」	前期 42% → 43% (1㊦増加)
「赤字」	前期 10% → 5% (5㊦減少)

企業からのコメント

- ★ハウスメーカーの躍進が脅威となっている。(総合建設)
- ☆★売上が相当伸びる見込みだが、納期に間に合わせるための外注費の膨らみが不安材料。(鉄筋工事)
- ★☆北信地区は物件少なく低価格の受注だが、中信・東信から受注の引き合いがある。(各種設備工事)



卸小売業の景況

業況は16割改善の+7、来期は悪化の予想

卸小売業の10～12月期の業況判断D・Iは+7で、前回(▲9)に比べ16割改善しました。1～3月期の業況判断D・Iは23割悪化の▲16の予想です。

	(前期)	7～9月期	▲9
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+7
	(来期)	1～3月期	▲16(予想)

◇業種別	卸売業	前期	▲13 → +28% (41割改善)
	小売業	前期	▲7 → ▲8% (1割悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+15 (20割改善)

「増益」割合	前期24% → 26% (2割増加)
「減益」割合	前期29% → 11% (18割減少)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期40% → 35% (5割減少)
「収支トントン」	前期49% → 52% (3割増加)
「赤字」	前期12% → 13% (1割増加)

企業からのコメント

- ★農家の減少・高齢化で農産物の品質低下、流通の多様化、果物離れなどマイナス要因多し。(果物卸売)
- ☆★健康志向商品はテレビ放送の翌日に売切れるが、食品全体の購入金額は減少傾向。(スーパー)
- ☆★消費税増税前の駆け込み需要で好調だった販売が、自動車税の減税報道で一気にダウン。(自動車販売)
- ★通販やスマホ決済の利用者が若い人で増加しており、店舗販売のみでは太刀打ちできない。(洋服販売)

サービス業の景況

業況は6割改善の+2、来期は悪化の予想

サービス業全体の10～12月期の業況判断D・Iは+2で、前回(▲4)と比べ6割改善しました。業種別では、輸送・外食・観光が改善しています。

1～3月期の業況判断D・I(予想)は20割悪化の▲18です。

	(前期)	7～9月期	▲4
◆業況判断D・I	(今期)	10～12月期	+2
	(来期)	1～3月期	▲18(予想)

◇業種別業況判断D・I

サ ー ビ ス	前期	± 0 → +20 (20割改善)
輸 送	前期	▲25 → +14 (39割改善)
タ ク シー	前期	▲100 → ± 0 (100割改善)
運 輸	前期	+20 → +20 (横ばい)
外 食	前期	▲10 → +9 (19割改善)
観 光	前期	▲11 → ± 0 (11割改善)
不 動 産	前期	+18 → ▲18 (36割悪化)

企業からのコメント

- ★業界全体が高齢化のため病欠者多く、消費税増税の10月に運賃値上げの動きがありそう。(タクシー)
- ★☆しばしば不動産の空室問い合わせがある。埼玉県の某駅前に飲食店を出店する。(不動産・飲食)
- ☆★消費税増税前の土地の動きにより、売上・収益が大きく変わるため、戦略を練っている。(不動産)
- ☆★インバウンドは増加傾向にあり、期待している。しかし、日本人客は減少傾向。(ホテル)

雇用情勢 10～12月期

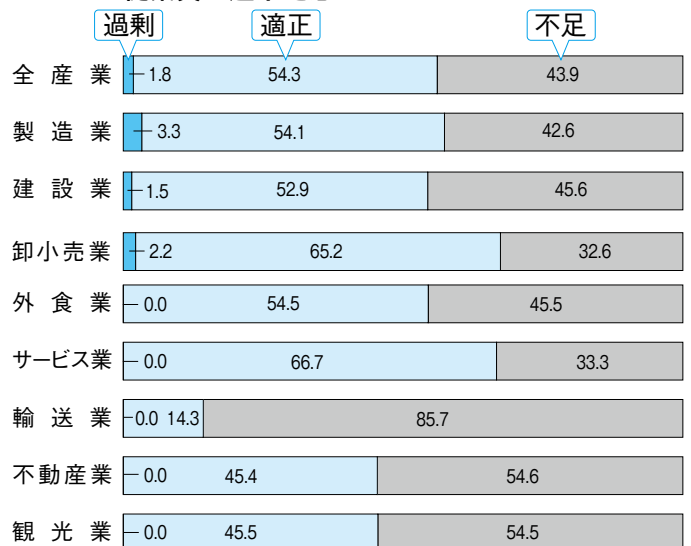
不動産・建設・外食が悪化

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲42となり、前回（▲39）より3ポイント悪化しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業 種	前期（7～9月）	今期（10～12月）
全産業	▲39.4	▲42.1
製造業	▲39.1	▲39.3
建設業	▲38.3	▲44.1
卸小売業	▲29.3	▲30.4
外食業	▲40.0	▲45.5
サービス業	▲33.3	▲33.3
輸送業	▲87.5	▲85.7
不動産業	▲40.0	▲54.6
観光業	▲55.6	▲54.5

従業員の過不足感（％）



（資料：当金庫）

資金繰り 10～12月期

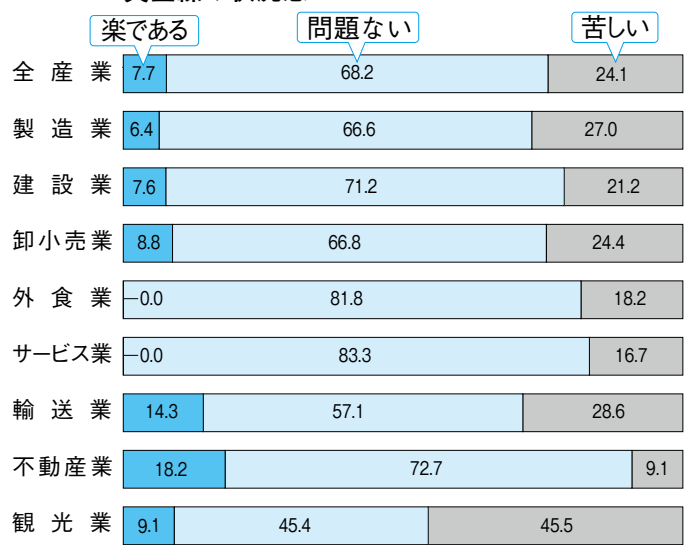
観光が悪化、サービス・外食・輸送・建設は改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲16となり、前回（▲19）より3ポイント悪化しています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業 種	前期（7～9月）	今期（10～12月）	来期（1～3月）
全産業	▲18.9	▲16.4	▲25.6
製造業	▲13.5	▲20.6	▲31.3
建設業	▲23.7	▲13.6	▲30.3
卸小売業	▲18.9	▲15.6	▲18.3
外食業	▲30.0	▲18.2	▲36.4
サービス業	▲33.3	▲16.7	▲16.7
輸送業	▲25.0	▲14.3	▲28.6
不動産業	▲10.0	+9.1	+10.0
観光業	▲11.1	▲36.4	▲20.0

資金繰り状況感（％）



（資料：当金庫）

販売価格動向 10～12月期

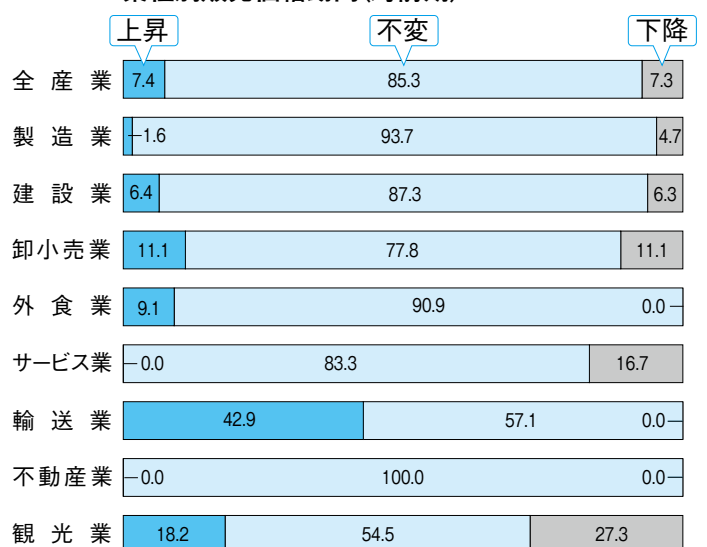
外食が上昇、サービス・観光・不動産は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で±0となり、前回（+4）に比べ4ポイント下降しています。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業 種	前期（7～9月）	今期（10～12月）	来期（1～3月）
全産業	+3.7	±0	▲0.9
製造業	±0	▲3.1	+3.1
建設業	+1.8	±0	±0
卸小売業	+7.3	±0	±0
外食業	▲10.0	+9.1	▲9.1
サービス業	±0	▲16.7	±0
輸送業	+25.0	+42.9	+14.3
不動産業	+10.0	±0	▲10.0
観光業	+22.2	▲9.1	▲30.0

業種別販売価格動向（対前期）（％）



（資料：当金庫）

北信濃 江戸時代の風景

(53) 北原の松屋

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



北原と南原

本年度は、文政10年(1827)に出版された広告集、『諸国道中商人鑑』(善光寺之部)の絵を紹介しています。今回は北原(長野市川中島町今井)の松屋です。

長野市川中島町を通る旧北国街道には、北原・南原と呼ばれる間の宿がありました。北原は旧今井村で塩崎(長野市篠ノ井)に知行所を置く旗本領でしたが、南原は松代藩領の旧原村でした。

今井村と原村は明治22年(1889)に合併して中津村となりました。中津村は昭和30年(1955)に御厨村と合併して昭和村となり、翌年には川中島村と合併して川中島町となりました。昭和41年(1966)以降は長野市川中島町となっています。

現在の北原は長野市川中島町今井の一部、南原は長野市川中島町原ですが、それぞれ北原・南原と通称されています。

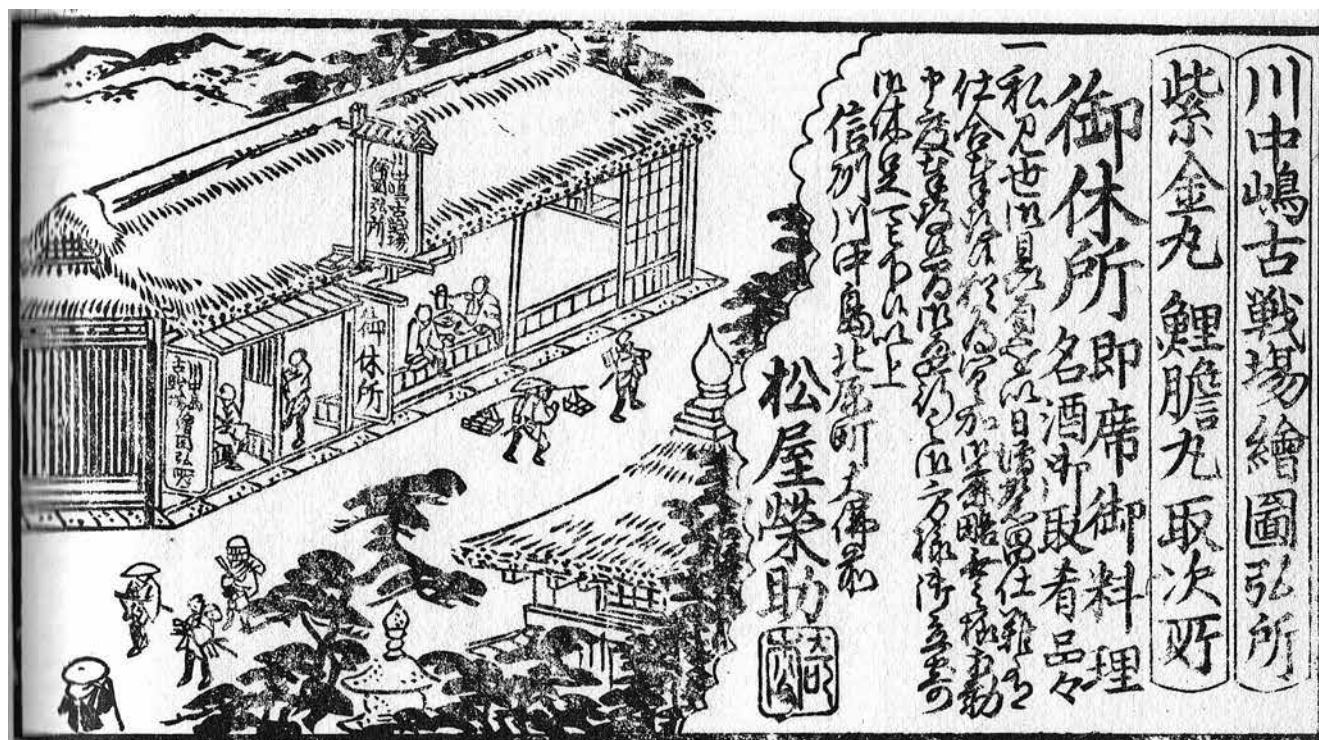
絵を読む

左下の図は、『諸国道中商人鑑』に描かれた北原

の茶屋、松屋です。右手が善光寺方面、左手が江戸方面です。この茶屋は『善光寺道名所図会』にも詳細に描かれていますが、両者には違いがあります。『善光寺道名所図会』ではこの茶屋は2階建てですが、この図は平屋です。また『善光寺道名所図会』には看板がありませんが、この図には看板が描かれています。

店の中央には「御休所」の看板があり、その上には「川中嶋古戦場絵図弘所」と書かれた屋根看板があります。同じ内容の看板は店の左手にも見られます。「御休所」はこの店が街道の茶屋であることを示しています。「川中嶋古戦場絵図弘所」は、川中島古戦場に近いという立地を生かして、旅人に川中島古戦場の絵図を販売していることを宣伝しているのです。

川中島合戦は浄瑠璃や歌舞伎の題材にもなっているなど有名で、街道をはずれて八幡原等の古戦場を訪れる旅人がありました。また街道を歩きながらいにしへの川中島合戦に思いをはせる旅人も少なくなかったのです。そうした旅人の需要に答



北原の茶屋松屋の図(『諸国道中商人鑑』より)

えて、この松屋では川中島合戦の絵図のほかに、『川中島合戦略伝』という川中島合戦を解説した小冊子も販売していました。いずれも松屋の主人栄助が自ら出版したものです。

字を読む

図の右側には、宣伝の文字が書いてあります。「川中嶋古戦場絵図弘所」については、すでに記した通りですが、「紫金丸・鯉胆丸取次所」は、薬を販売している

ことを宣伝しています。旅人は旅先で病気になることがあり、茶屋でも薬が重宝されたのでしょう。

「御休所 即席御料理 名酒御取肴品々」が茶屋としての広告です。食事や飲酒ができることを宣伝しています。「取肴」は酒の肴のことです。

続いて口上が書かれています。現代語訳すると、次のような内容です。

「私どもの店をごひいきをいただいて、日増しに繁盛しており、有難いことでございます。御礼のため、不作法がないよう今後も務めてまいりますので、ご通行の皆さまにはお立ち寄りくださってご休息ください。

信州川中島北原町大仏前 松屋栄助(印)」

北原の大仏

松屋が「大仏前」と称しているのは、店の前に「北原の大仏」で知られる大仏堂があるためです。この図でも店の前に、屋根に宝珠を乗せた宝形造りの堂が描かれています。この堂は少し後に描かれた『善光寺道名所図会』では、宝形造りではなく入母屋造りで、「大仏摂待所」となっています。後年に入母屋造りに建て替えられたのかもしれませんが。



現在の北原大仏堂（延命大仏殿）

この大仏堂（阿弥陀堂）は江戸時代初期の元和2年(1616)の創建といわれ、寛政12年(1800)に再建されました。この時江戸から高さ約1丈(3メートル)の大仏を迎えて安置しました。長野市西後町の十念寺の出世大仏は寛政11年(1799)の建立ですから、善光寺に向かう北国街道沿いには、同じ時期に2体の大仏(阿弥陀如来像)が安置されたことが分かります。

現在の北原大仏

北国街道の名所であった北原の大仏堂も、明治に入ると廃堂となり、大仏は1キロメートルほど西にある切勝寺に引き取られました。昭和24年(1949)北原区の人々は元の大仏堂に近い北原公民館の一角に大仏堂を再建し、切勝寺にあった大仏を安置しました。元の大仏堂は北国街道沿いの東側にありましたが、新しい大仏堂は街道から西に入った所にあります。

2月号は「屋代宿」の予定です。

税務署から
のお知らせ

確定申告書は自宅で作成できます!

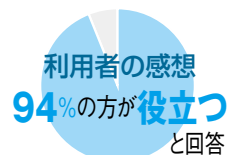
Step1 国税庁HP「確定申告書等作成コーナー」へアクセス

Step2 申告書を作成 画面の案内に従って入力すると自動計算で申告書が作成できます。

Step3 申告書を提出 申告書の提出は2通りあります。

▶ 作成コーナーからe-Taxで送信!

▶ 印刷して提出! 郵送などで税務署に提出します。



◆ 作成コーナーの操作方法などに関するお問合せは

▶ e-Tax・作成コーナーヘルプデスク **0570-01-5901** (全国一律市内通話料金)

◆ 申告書の作成などにあたってのご不明点に関するお問合せは

▶ 長野税務署 **026-234-0111**

www.keisan.nta.go.jp

作成コーナー



申告手続には、

マイナンバーの記載 と **本人確認書類の提示** または **写しの添付** が必要です。



長野しんきん

第16回 **ビジネスフェア2019** 入場無料

日時 2019年5月15日[水]
10:00(開場9:30)～17:30

会場 **ビッグハット** 長野市若里3-22-2
長野市若里多目的スポーツアリーナ

●みなさまの経営相談のご案内[2月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
2月 4日 月	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	2月 18日 月	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)
6日 水	本 部		19日 火	長池支店 (大豆島支店)	
7日 木	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	21日 木	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
8日 金	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	22日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
13日 水	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	26日 火	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
14日 木	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)	27日 水	本 部	

●2月の「しんきん事業相談会」は2月6日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

●「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます●

